

募集要項発表！ 応募締切は8月5日(水)に変更

墨田区中高生防災政策提案チャレンジ

キミの提案が すみだを守る

主催：首都防災ウィーク実行委員会

待ったなし、首都地震。破局を防ぐ力を東京から

後援：墨田区・墨田区教育委員会・墨田区観光協会・東京東信用金庫ほか



◎三つの目的 詳しくは募集要項をご覧ください ようこう

- 1 災害の被害軽減：地域の現状をふまえた提案により、首都直下地震の被害を実際に軽減する。
- 2 「公」の対策加速化：若者がリーダーシップを取り、政府、自治体、地域の対策を加速させる。
- 3 モデル事業：中高生がつなぎ、担う地域防災モデル事例を、墨田から東京、全国に波及させる。

◎公募対象：墨田区内の中学高校生（個人またはグループで応募ください）

都市部では、ウィークデイの昼間は働き手が地域に少ない。このため、中学高校生が普段から地域と交流して災害に備えると共に、地震時には、地域の人々と一緒に被害を軽減する行動を取ることが期待されます。このプロジェクトは、中高生の皆さんと学校、地域の方々に、そうした意識と行動を進めていただく一歩と考えています。

◎3つの募集テーマ 各テーマの何に着目するかは応募者の自由です。

墨田区には、水害をはじめたくさんの難問があります。今回は、大地震で直ちに表面化する三つのテーマを取り上げます。この三つで終わりではなく、これが出発点。と一緒に、墨田区と東京の未来を考えましょう。

（1）マンション防災

中高層住宅では、大地震でエレベーターが止まったり、水や電気が使えなくなる危険があります。高層では家具の転倒も危険です。日ごろから水や食料、簡易トイレを備え、お互いに助け合う関係づくりが大切です。病院などでの介護が必要な方などをどう支援するかも重要です。

（2）住まいの耐震補強

古い木造住宅は、大地震で倒れやすい。これまでの大地震では、多くの方が家の下敷きで亡くなったり、火災が起きて地域全体に被害が広がりました。耐震補強で家を強くすれば、命を守ることができ、地域社会を守ることができます。

（3）災害瓦礫と人工海底山脈

災害で発生するコンクリート瓦礫（コンガラ）は、深刻な交通渋滞を引き起こすなど、応急、復旧、復興を妨げます。現在、コンガラはお金と時間をかけて粉碎し、再利用していますが、これを都市の資源として海域活用すれば、迅速な復興と海の食料増産という一石二鳥になります。

◎公募スケジュール（今後も変更がありますので、応募要項にご注意ください）

▼6月 オンライン勉強会（Zoom、19:30-20:30）6月16日（火）マンション防災、6月17日（水）住まいの耐震補強、6月20日（土）災害瓦礫と人工海底山脈 ▼8月5日（水）応募締切 ▼8月18日（火）第一次審査結果発表 ▼8月23日（日）第二次応募資料締切 ▼8月25日（火）第二次審査（慰霊堂でプレゼン）▼8月30日（日）最終結果発表 ▼9月6日（日）13:00～記念式典で入賞者表彰・副賞授与 ▼グランプリ受賞者は14:00～防災フォーラムで、パネリストとして登壇いただきます。